

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
134042113	教職実践演習(中・高)	小野憲一・片岡優介			2	選択	4後期

科目の概要

教職実践演習は、教職課程の他の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて、学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、本学の教員像や到達目標等に照らして最終的に確認するものであり、いわば全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」として位置付けられるものである。受講生は、この科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図る。それにより、教職生活をより円滑にスタートできるようになることが期待される。本科目は、本学の教育モデル「学びの泉」の実践を通して、自ら学ぶ能力・ともに学ぶ能力を鍛え上げ、教員として必要な専門的知識・技能だけでなく一般的知識・技能を身に付け、人々の日常生活を衣・食・住および地域活性の面から支援することができること(DP1・2・3・4・5・6)を備えた家庭科教員となるためにも、この科目に真摯に向き合ってほしい。

学修内容	到達目標
① 使命感や責任感、教育的愛情を確認する。 ② 社会性や対人関係能力を確認する。 ③ 生徒理解や学級経営に関する能力を確認する。 ④ 教科内容の指導力を確認する。	① 使命感や責任感、教育的愛情が身に付いている。 ② 社会性や対人関係能力が身に付いている。 ③ 生徒理解や学級経営に関する能力が身に付いている。 ④ 教科内容の指導力が身に付いている。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	物事に進んで取り組んでいる。
	働きかけ力	
	実行力	目的を設定し、確実に行動している。
考え抜く力	課題発見力	現状を分析し、目的や課題を明らかにしている。
	計画力	
	創造力	新しい価値を生み出している。
チームで働く力	発信力	自分の意見をわかりやすく伝えている。
	傾聴力	相手の意見を丁寧に聴いている。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	社会のルールや人との約束を守っている。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

適宜、資料を配付する。
 参考文献：『自己成長を目指す教職実践演習テキスト』『教職実践演習ワークブック』
 これまでの修得科目のテキスト、中高家庭科の教科書、中高学習指導要領

他科目との関連、資格との関連

「教職実践演習」は教職に関する科目であり、4年次前期までに学修した全ての科目を振り返る総復習の場となる。中学校教諭一種免許状（家庭）・高等学校教諭一種免許状（家庭）を取得するために履修する必要がある。

学修上の助言	受講生とのルール
最低限、次のことに取り組むことが単位修得の条件です。 ・教職履修カルテを読み直すこと。 ・自己評価および他者評価を行い、自身の資質能力を的確に把握することに努めること。 ・不足している資質能力を補う努力を行うこと。	教職課程の集大成の科目であることから、原則として、1回の欠席も認めない。実習および公式試合の場合はこのとおりではない。ただし、欠席する場合は、事前に担当教員まで連絡をした上で、補習に代える。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			模擬授業やグループディスカッション、課題等を見て、担当教員の協議により総合的に評価する。 教員として必要な四つの資質能力を評価する。 ・ 使命感や責任感，教育的愛情 ・ 社会性や対人関係能力 ・ 生徒理解や学級経営に関する能力 ・ 教科内容の指導力
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			以下の観点それぞれに対して，15週を通して観察し，評価する。 主体性 物事に進んで取り組んでいる。 実行力 目的を設定し，確実に行動している。 課題発見力 現状を分析し，目的や課題を明らかにしている。 創造力 新しい価値を生み出している。 発信力 自分の意見をわかりやすく伝えている。 傾聴力 相手の意見を丁寧に聴いている。 規律性 社会のルールや人との約束を守っている。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合		100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S評価：平常評価（成果発表の課題・社会人基礎力）において9割以上の得点率 A評価：平常評価（成果発表の課題・社会人基礎力）において8割以上の得点率	B評価：平常評価（成果発表の課題・社会人基礎力）において7割以上の得点率 C評価：平常評価（成果発表の課題・社会人基礎力）において6割以上の得点率

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	(1) 教育理念【自分の教育信念を見つめてみよう！ー学級開きで生徒に何を伝えるー】(小野・●) 教員として求められる使命感、教育的愛情などに関する事柄を学修する。特に4月の始業式、新しい学年を迎え、生徒は期待と不安を抱えて、学級開きに臨んでいる。自分の心にある「教育にかける熱意・情熱・使命・責任・生徒に対する愛情」を確認し、生徒との出会いを心から喜び、心に響く言葉で、自分の教育信念を伝える。	講義 演習 google classroom	教育に対する使命感や情熱を持ち、常に生徒から学び、共に成長しようとする姿勢が身に付いている。	予習：シラバスを読んでおく。 復習：自治体等の教員育成指標を読み、教師に求められる力量を確認する。教職履修カルテを読み直し、教員として最小限必要な資質能力を身に付けるための学修計画を立てる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	(2) 生活指導／生徒指導【生活指導／生徒指導上の問題にどう対応するか？】(小野・●) 教員として求められる生徒理解や学級経営などに関する事柄を学修する。学級経営には、個人に対する指導と集団に対する指導の2つの側面があることを理解し把握する。それを踏まえて生徒の問題行動への指導の際には「自己決定の場を設定する」「自己存在感を与える」「共感的人間関係の育成」について考慮し、生徒の心に届く指導の仕方を集団討論を通して考える。	演習 google classroom	生徒の発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、適切な指導を行うことができる。	予習：教職履修カルテを読み直し、生活指導／生徒指導の基本的事項を調べておく。 復習：授業でのディスカッションを踏まえて、本授業における内容を精査し課題に取り組む。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	(3) 学級経営【よりよい学級経営について考えよう！】(小野・●) 教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情に関する事柄を学修する。学級は生徒にとって「学修する場」であり「生活する場」である。日頃から、教師と生徒の信頼関係及び生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに生徒理解を深め、生徒指導の充実を図ることが重要である。より良い人間関係を育て、集団としての力を高めていき、生徒自身が高め合い学び合える学級づくりについて集団討論を通して考える。	演習 google classroom	教師に求められる力量を理解するとともに、生徒との間に信頼関係を築き、学級集団を把握して、規律ある学級経営を行うことができる。	予習：教職履修カルテを読み直し、学級経営における教師としての生徒理解についてどの様な事が考えられるかを調べておく。 復習：授業でのディスカッションを踏まえて、本授業における内容を精査し課題に取り組む。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	(4) 学力向上【学級担任として学力向上にどう取り組むか？】(小野・●) 授業の改善に取り組み、生徒の力に応じ「分かった」「できた」を保障することは、教師にとって基本的責任である。生徒の学力を保障するためには、自分の指導の問題点を分析し、その要因を確かなら改善していく必要がある。自分だけでなく、同僚や上司、尊敬する教師など様々な人々の力を借り、学力向上を目指す姿勢が求められる。限られた時間をどう活用し、家庭学習にどう取り組ませるかなどの工夫が必要である。	演習 google classroom	教員としての職責や義務の自覚に基づき、目的や状況に応じた適切な言動をとることができる。組織の一員としての自覚を持ち、他の教職員と協力して職務を遂行することができる。	予習：配付資料を読み、プレゼンテーション資料を作成する。 復習：授業を通して大事だと思ったことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	(5) ロールプレイング／特別支援教育【ちょっと気になる生徒のいる学級での生徒と保護者への対応】(小野・●) 教員として求められる社会性や対人間関係能力に関する事柄を学修する。発達障害のある生徒が起こすトラブルは原因が分かりにくい。教師として傷害の特性を知り、日頃から適切な指導を行い、保護者との連携を図り、未然に防ぐことが可能になる。ロールプレイングを通して、生徒の抱える混乱と保護者の思いを受け止めることの大切さと、適切に対応するための視点を学び、互いの考えを共有する。	演習 google classroom	生徒・保護者や地域との関係者と良好な人間関係を築くことができる。生徒の発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、適切な指導を行うことができる。	予習：配付資料を読み、プレゼンテーション資料を作成する。 復習：授業を通して大事だと思ったことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	(6) ロールプレイング／保護者対応【突然、保護者から苦情電話が！ーあなたはどう対応するか？】(小野・●) 教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情などに関する事柄を学修する。教師が日々の教育活動に対して誠実に努力していても保護者からの苦情が寄せられることがある。これらは直接お会いして誠意対応することが大切である。保護者からの苦情電話の内容を把握し、保護者の気持ちを考えながら、信頼関係を築く対応の仕方をロールプレイングを通して検討する。	演習 google classroom	生徒の発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、適切な指導を行うことができる。教員としての職責や義務の自覚に基づき、目的や状況に応じた適切な言動をとることができる。	予習：配付資料を読み、プレゼンテーション資料を作成する。 復習：授業を通して大事だと思ったことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	(7) ワークショップ／学級崩壊・いじめ【学級崩壊を防ぐため、担任としてどう対応するか？】(小野・●) 教員として求められる社会性や対人間関係能力に関する事柄を学修する。生徒が教室内で勝手な行動をして教師の指導に従わず授業が成立しない状態が学級崩壊である。集団教育という機能が成立しなく、立て直しには相当な困難を要する。この学級崩壊に対して発生する要因を明らかにし、どの様に対応し、どの様に解決していくかを様々な視点から学ぶ。	演習 google classroom	生徒の発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、適切な指導を行うことができる。	予習：配付資料を読み、プレゼンテーション資料を作成する。 復習：授業を通して大事だと思ったことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	(8) ロールプレイング／安全教育【自分の身は自分で守る！ー生徒の危機回避能力を育てようー】(山田・小野) 教員として求められる生徒理解や学級経営などに関する事柄を学修する。(朝の会・帰りの会、その他の場での危機回避に関する指導)生徒の周囲には、多くの危機が潜んでいる。その点について、学校の教職員全員の共通理解の基に、学校としての全体計画・作成され、それに則った計画的な指導が各学級で行われている。緊急時などの指導において、生徒の心に響き、生徒自身に危機回避の大切さを実感させるにはどのような指導の在り方が考えられるか演習やディスカッションを通して探っていく。	演習 google classroom	生徒に対して公平かつ受容的な態度で接し、豊かな人間的交流を行うことができ、生徒の発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、適切な指導を行うことができる。	予習：「学校安全Web」日本スポーツ振興センター配信の動画を視聴しておく。 復習：ロールプレイングや話し合いを通して、生徒自らの危機回避の大切さについて考えた事をまとめておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	(9) 集団討論／教員の使命／非違行為根絶 【胸を張って生徒の前に立つために】教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情などに関する事柄を学修する。(小野・●) 教職員は、生徒たちの人格形成を支援するという重大かつ崇高な責務を担っている。そのため公務員の中でも高い倫理観が要求される。しかし、全国では教職員の非違行為が後を絶たない。この非違行為を防止するには、「まさか…」から「もしかしたら」へと意識を転換し、『非違行為は決して他人事ではなく、自分にも落とし穴がある』と常に心得る必要がある。ワークショップでは、自分の生活を振り返りながら、具体的な防止策を考えて行くことが大切である。	演習 google classroom	教員として高い倫理観と規範意識、困難に立ち向かう強い意志を持ち、自己の職責を果たすことができる。生徒の教育に携わる者としての自覚を持つことができる。	予習：これまでの学修内容と併せて、教職員の非違行為の内容を知り、どのような事例が起きているかを調べておく。 復習：授業を通して大事だと思ったことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	(10) ワークショップ／情報モラル【電子メディアに関するトラブルは、家庭の問題】(小野・●) 教員として求められる生徒理解や学級経営などに関する事柄を学修する。 情報化社会の進展により、生徒がコンピューター・スマートフォン・タブレット・端末・音楽プレイヤー・ゲーム機などの様々な電子メディアを通して、SNSにアクセスすることが出来るようになった。多くの生徒がトラブルに巻き込まれる危険性がある。多トラブルを回避したり、情報化社会における自らの行動を適切に判断したりする生徒を育てるためには、学校・家庭・地域が協力して取り組む必要がある。マトリックスを活用した情報整理とディスカッションを通して、電子メディアに関するトラブルについて理解を深め、協働して課題解決する良さや手立に気付くことができる。	演習 google classroom	電子メディアとの関わりが生徒の生活習慣や心身の健康に影響することを理解し、問題点を明確にして、改善や防止に向けた指導の具体的取組が提案できる。	予習：電子メディアに関連するトラブルや問題例などを調べておく。 復習：授業を通して大事だと思ったことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	(11) ワークショップ／小中連携【小中連携による中1ギャップへの対応をどうするか】(小野・●) 教員として求められる社会性や対人間関係能力に関する事柄を学修する。 (中1ギャップ) 中学1年生で、いじめの認知件数や不登校の生徒数が増加するという現象面のギャップと 中学に進学した生徒が感じる小・中学校間の学校制度や教職員の指導等のギャップのことである。小学校から中学校そして高等学校の様々な違いを理解することが重要であり、中1ギャップが発生する要因を考え、小中連携の視点から解決方法について考えて行く。	演習 google classroom	社会状況や時代の変化に伴い、生ずる新たな課題や生徒の変化を進んで捉えようとする姿勢を持つことができる。	予習：〈中1ギャップ〉についてどのような様な事象なのかを調べておく。 復習：授業を通して大事だと思ったことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	(12) 演示・模擬／生活目標【全校朝会での月の生活目標の指導】(小野・●) 教員として求められる社会性や対人間関係能力に関する事柄を学修する。 (全校朝会での生活目標に関する指導) 各学校では生活(生徒)指導面から生活目標あるいは生徒指導目標を定め、生徒に示し啓発を図っている。その指導に当たるのは、全校教職員である。全校の生徒に共通理解を持たせることができる反面、様々な発達障害の生徒が集まっている。対象人数が多いこと、単調な話だけでは生徒の心に響かず、目標に向けた行動に至らないことが多い。それらの問題を促す指導の在り方をグループでディスカッションをし構想してみよう。	演習 google classroom	学校組織の一員として、他の教職員の意見に耳を傾け、協調性や柔軟性を持って、自らと職務を遂行するとともに、校務の運営に当たることができる。	予習：月の生活目標としてどのような事が考えられるかピックアップしておく。 復習：授業を通して大事だと思ったことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	(13) ロールプレイング／生徒理解 【生徒にどう伝える－褒め方／叱り方－】教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情などの事柄を学修する。(小野・●) 生徒は、学校生活の中で様々な状況の中で、様々な行いをしている。その行為は、善行であったり、時には判断力の欠如や人間関係が原因で好ましくない行為であったりする。その際、生徒の話聞き、善行の場合、好ましくない行為であった時の褒め方・叱り方について、ロールプレイングやディスカッションを通して考える。	演習 google classroom	生徒の特性や心身の状況を把握した上で、生徒の特性や行為の状況に応じて適切な指導や支援を行うことができる。	予習：普段の自分が、他人を褒める場合、叱る場合はどのようなのかを把握して、ノートに書き留めておく。 復習：授業を通して大事だと思ったことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	(14) 集団討論／理想の教師像と自分 【教員として自己の職責を果たすー仕事とどう向き合いますかー】(小野・●) 教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情などに関する事柄を学修する。教員として自己の職責を果たすには、先輩や同僚から積極的に学び続け、日々成長しようと心がけることが何より大切である。学校内においては、スケジュールや時間の管理・文書の整理・メモの活用など、仕事に集中できる環境整備を習慣化しなければならない。仕事に対する真摯な姿勢と責任の重さの自覚について、トリオフォーラムを通して考えて行く。	演習 google classroom	仕事に集中できる環境を整え、他の教職員に学びながら見通しを持って自己の職責を果たすことの大切さを理解できる。	予習：一社会人で教員という仕事に対してどのように自分自身は向き合っていくのか決意に近いものを書き出してまとめておく。 復習：授業を通して大事だと思ったことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	教職実践演習を通した学びを振り返り、教員として最小限必要な資質能力を身に付けているかを確認する。また、これまでの学びを踏まえて、「理想の教師像と今の自分、これからの自分」と題して教育実践演習のレポートを提出してもらう。また、教育実践を現場で行っている学校関係者をゲストティチャーとして来校し講演してもらう機会とした。なお、第7週目にその内容を教示する。また課題の提出をもって出席とみなす。(小野・●)	演習・講演 google classroom	教員として最小限必要な資質能力を身に付けている。最終課題について自分の意見や考えが反映された内容のレポートの提出ができている。	予習：教職における大学の学びの集大成である教育実践演習が終わりました。自分が教育で教員として最小限必要な資質能力を身に付けることができたかを確認する。 復習：教員として必要な資質能力を身に付けていることを記録に残す。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力